学校番号	209

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史探究　詳説日本史（山川出版社）						
副教材等	歴史資料館　日本史のライブラリー（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ➢ 明治維新～第二次世界大戦を経て現代までの時代を学びます。
- ➢ 歴史という時間軸を感じるため、歴史の流れや時代背景を意識した授業を行います。
- ➢ 歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付こう。
- ➢ 日本史を多面的・多角的に理解するために、世界史・地理との関連を重視します。
- ➢ 生徒の視点での素朴な疑問や生活感覚に即した疑問に主体的に取り組んでいきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
現代の社会やその諸課題は、地理的歴史的に形成されたものであることを理解し、歴史的思考力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
これからの国際社会に主体的に生き、平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
我が国の伝統と文化の特色についての認識を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史全体についての基本的な事柄を、地理的条件や世界の歴史との関連付けを一層重視して理解し、その知識を身につけている。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史を学ぶ意義に気付き、日本の歴史全体に対して関心をもって意欲的に追及し、今後の国際社会や日本社会を形成していく自覚をもって考える態度を身につけているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1	近代	・近代への転換 ・近代国家の形成 ・国際関係の推移と近代産業の発展	a:近代初中期の特色、文化の特徴･生活や地域の変化をよく理解して､その知識を身につけている。 b:政治･経済等の近代化、近代国家の成立や変容､社会や文化の特色について主に西洋を手本にした文物･諸制度が、その地理的条件も重なって近代国家や文化の形成に大きな影響を及ぼしたことを考察･表現できている。 b: 必要な諸資料を収集、分析し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 c: 幕末から近世初中期までの日本の歴史の歩みと、世界の結びつきのなかに組み込まれた日本の動きをグローバルな視点にも着目して関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	提出物

2	近代／現代	・第一次世界大戦と日本 ・軍部の台頭と戦争の長期化 ・日本の再建	a: 近代中後期～現代の特色、文化の特徴･生活や地域の変化をよく理解して､その知識を身につけている。 b:第一次世界大戦を経た国際的地位の変化とその後の経済･社会の変化､都市化の進展などの現代社会の萌芽､外交政策の変化と恐慌･社会不安の増大と軍部の台頭等を政党政治の動向や社会運動に着目して､当時の社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察できている。 c:政党政治の停滞と国際的孤立、戦時体制の進展と第二次世界大戦～アジア太平洋戦争～敗戦にいたる過程と背景を国民生活や国民意識の変容をとらえながら関心をもつことができる。	定期考査	ワークシート 定期考査	提出物
3	現代	・経済の発展 ・経済大国とグローバル化	a: 戦後の日本社会や経済の主な特徴や国際社会との関係文化の特徴･生活や地域の変化をよく理解して､その知識を身につけている。 b: 占領下の諸改革とその影響、冷戦の始まりと日本をとりまく国際環境の変化､経済成長の進展等を冷戦や国際関係の変化に着目して当時の社会の仕組み､文化の特色とその成立の背景について考察できている。 c: 戦後社会の成立と変容、高度経済成長の影響と弊害､現代文化や国民の消費生活の多様化にも関心をもち､意欲的に追究しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度